

一般社団法人ローゼス教会 5期決算報告書
2022年11月1日から2023年10月31日

貸借対照表(B/S)				
資産		海外 国内	負債	
固定資産		¥0	短期借入金	¥0
流動資産			長期借入金	¥0
現金(海外)	¥684,892	●	預り金	¥0
ゆうちょ銀行(海外)	¥69,633	●	負債の部合計	¥0
大和信金(海外)	¥0	●		
現金(国内)	¥212,287	●	純資産	
あおぞらネット銀行	¥10,911	●	純資産	海外 国内
りそな銀行	¥81,000	●	開始残高(開業費)	¥100,000 ●
資産の部合計	¥1,058,723		純資産	¥-41,195 ●
			次期繰越利益	¥695,720 ●
			次期繰越利益	¥207,296 ●
			当期利益	¥96,902 ● ●
			純資産の部合計	¥1,058,723

損益計算書(P/L)				
収益		海外 国内	費用	海外 国内
受取寄付金(海外部門)	¥2,378,829	●	UGANDA献金	¥2,143,633 ●
受取寄付金(国内部門)	¥520,500	●	国内外部献金	¥38,538 ●
受取利息	¥0	●	教会運営費	¥80,417 ●
ポスティング献金	¥0	●	交通費(駐車場含む)	¥148,249 ●
雑収入	¥0	●	設備費	¥9,497 ●
収益の部合計	¥2,899,329		銀行手数料	¥580 ●
			雑費	¥1,710 ●
			消耗品	¥42,155 ●
			新聞図書費	¥6,422 ● ●
			接待交際費	¥26,377 ●
			租税公課	¥10,084 ●
			広告費	¥65,299 ●
			通信費	¥14,823 ● ●
			費用の部合計	¥2,587,784
			純利益(当期)	¥311,545

備考：

本決算書は連結ですが、海外部門（ウガンダ）と国内部門（西成）のための資金活用は、特に大きな問題が無い限り、原則的に分離管理される方針です。4期に引き続き、本第5期においてもこの分離管理は達成されました。

次期（6期）繰り越し金：

海外部門につきましての次期繰り越し金は、

$$\text{現金（海外部門）} + \text{ゆうちょ銀行（海外）} = \text{¥754,525-}$$

この約70万円はエスタ来日用の旅費・宿泊としています。

国内部門につきましての次期繰り越し金は、

$$\text{現金（国内+あおぞらネット銀行+りそな銀行）} = \text{¥304,198-}$$

となります。

$$\text{合計} = \text{¥1,058,723-}$$

下記に、連結する前の国内および国外の各貸借対照表を示します。

第5期決算：国内部門

貸借対照表 2022/11/01～2023/10/31

資産		負債	
資産	¥304,198	負債	¥0
流動資産	¥304,198	合計負債	¥0
現金	¥212,287	純資産	
あおぞらネット銀行M	¥900	純資産	¥304,198
あおぞらネット銀行P	¥10,011	開始残高	¥0
りそな銀行ローゼス	¥81,000	次期繰り越利益(当期利益)	¥207,296
みずほ銀行 普通預金	¥0	当期利益(損失)	¥96,902
合計資産	¥304,198	利益剰余金	¥0
		合計純資産	¥304,198
		合計負債および純資産	¥304,198

第5期決算：海外部門：SFBC

貸借対照表 2022/11/01～2023/10/31

資産		負債	
資産Assets	¥754,525	負債	¥0
現金	¥684,892	短期借入金	¥0
普通預金	¥69,633	長期借入金	¥0
大和信金	¥0	預り金	¥0
ゆうちょ銀行	¥69,633	合計負債	¥0
合計資産	¥754,525	純資産	
		純資産(自己資本)	¥754,525
		純資産(自己資本)	-¥41,195
		開始残高(開業費)	¥100,000
		次期繰越利益(当期利益)	¥695,720
		当期利益(損失)	¥0
		利益剰余金	¥0
		合計純資産	¥754,525
		合計負債および純資産	¥754,525

下記に、連結する前の国内および国外の各損益計算書を示します。

第5期決算：国内部門

損益計算書 2022/11/01 ~ 2023/10/31

収益		費用	
収益	¥520,500	費用	¥423,598
<u>ポスティング用献金</u>	¥0	<u>リクリエーション</u>	¥0
<u>献金</u>	¥520,500	<u>医療費</u>	¥0
<u>雑収入</u>	¥0	<u>外部献金</u>	¥38,538
<u>助成金</u>	¥0	<u>教会運営費</u>	¥80,417
合計収益	¥520,500	<u>銀行手数料</u>	¥580
		<u>交通費</u>	¥125,699
		<u>広告費</u>	¥65,299
		<u>雑費</u>	¥1,710
		<u>修繕費</u>	¥0
純利益		<u>消耗品</u>	¥42,155
合計純利益	¥96,902	<u>新聞図書費</u>	¥367
		<u>接待交際費</u>	¥26,377
		<u>設備</u>	¥9,497
		<u>租税公課</u>	¥10,084
		<u>駐車場</u>	¥22,550
		<u>通信運搬費</u>	¥325
		合計費用	¥423,598

第5期決算：海外部門：SFBC

損益計算書 2022/11/01 ~ 2023/10/31

収益		費用	
収益	¥2,378,829	費用	¥2,164,186
<u>受取寄付金</u>	¥2,378,829	★注★各項目の合計が0でも削除するな！過去期にデータがある	¥0
<u>受取利息</u>	¥0	<u>活動費</u>	¥0
<u>受入助成金</u>	¥0	<u>交通費</u>	¥0
<u>普通預金利子</u>	¥0	<u>支払手数料</u>	¥0
<u>本代</u>	¥0	<u>消耗品</u>	¥0
合計収益	¥2,378,829	<u>新聞図書費</u>	¥6,055
		<u>備品</u>	¥0
		<u>海外支援</u>	¥2,143,633
		<u>自立支援PJ（中断）</u>	¥0
		<u>物品献金</u>	¥0
		<u>直接TINE献金</u>	¥0
純利益		<u>振込手数料</u>	¥0
合計純利益	¥214,643	<u>PayForexでTINE献金</u>	¥2,143,633
		<u>広告費</u>	¥0
		<u>接待交際費</u>	¥0
		<u>創立費</u>	¥0
		<u>通信費</u>	¥14,498
		<u>税金</u>	¥0
		合計費用	¥2,164,186

下記に、第5期決算：国内部門と海外部門の費用に関する円グラフを示します。

第5期決算：国内部門

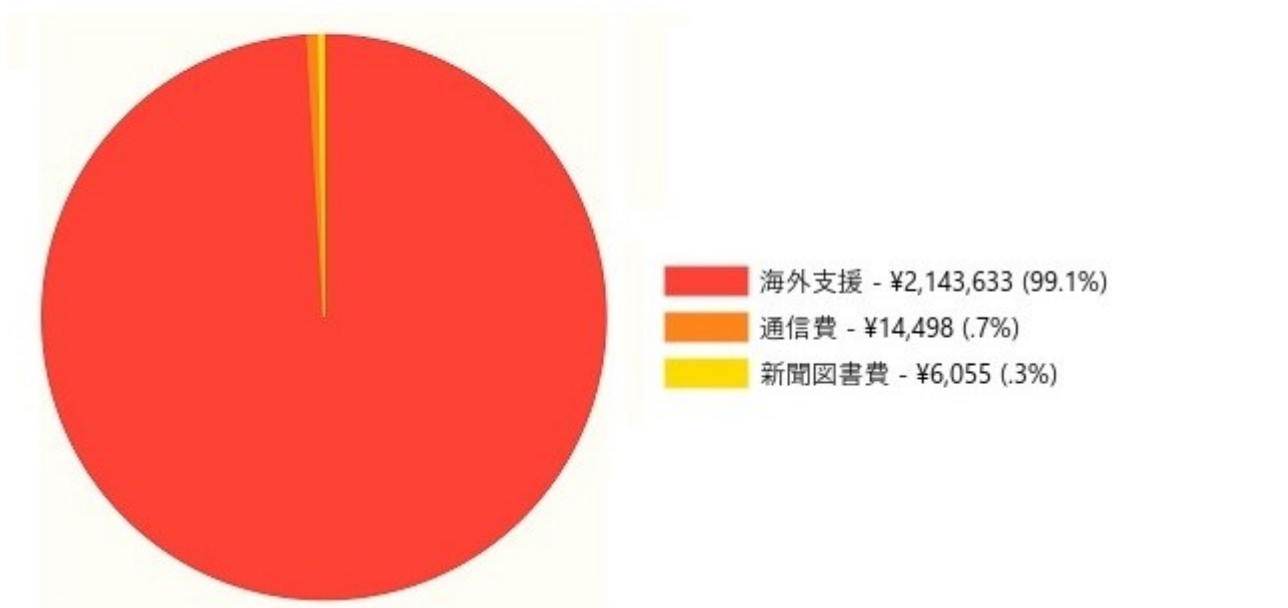
費用勘定科目別円グラフ 2022/11/01 ~ 2023/10/31: ¥423,598



毎週の公園および西成市民館での運営費および交通費が約半分を占めているのが判ります

第5期決算：海外部門

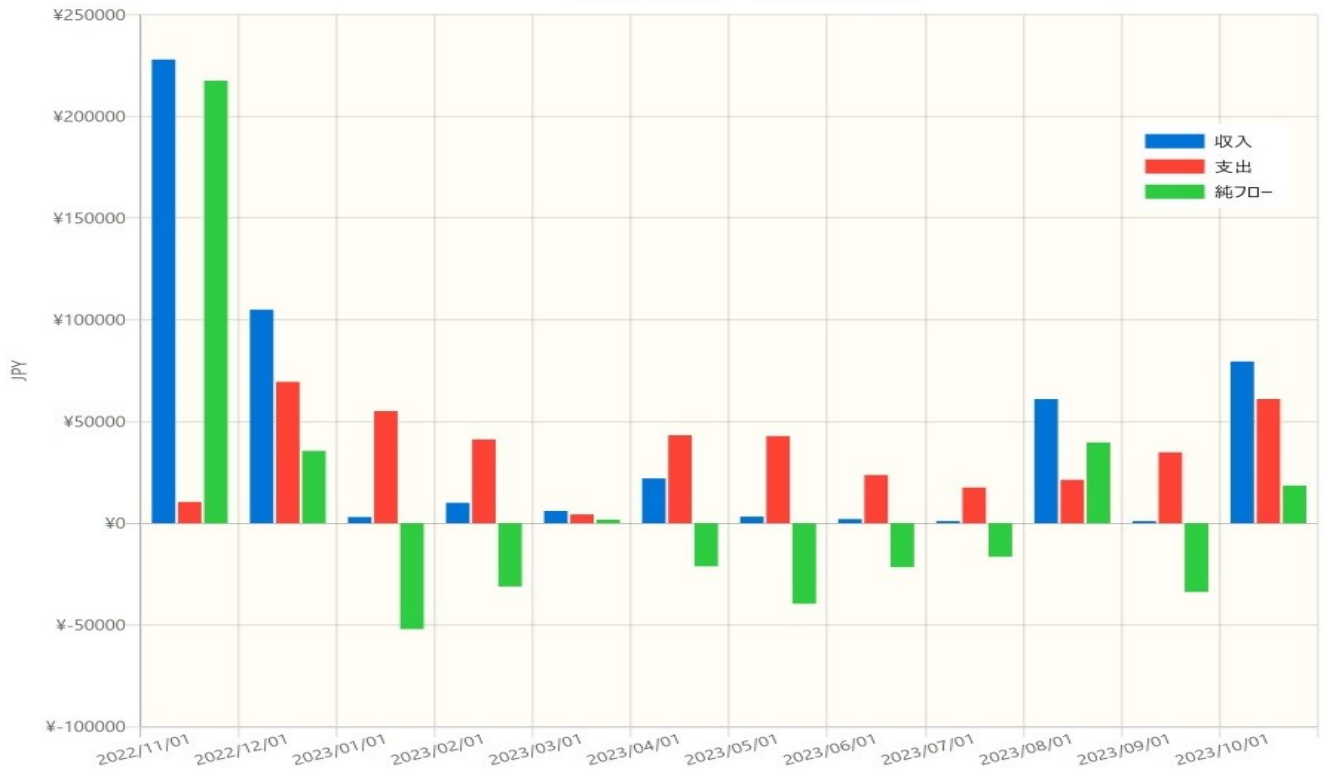
費用勘定科目別円グラフ 2022/11/01 ~ 2023/10/31: ¥2,164,186



ほぼすべてがウガンダ TINE ミニストリーへの海外送金であることが判ります。

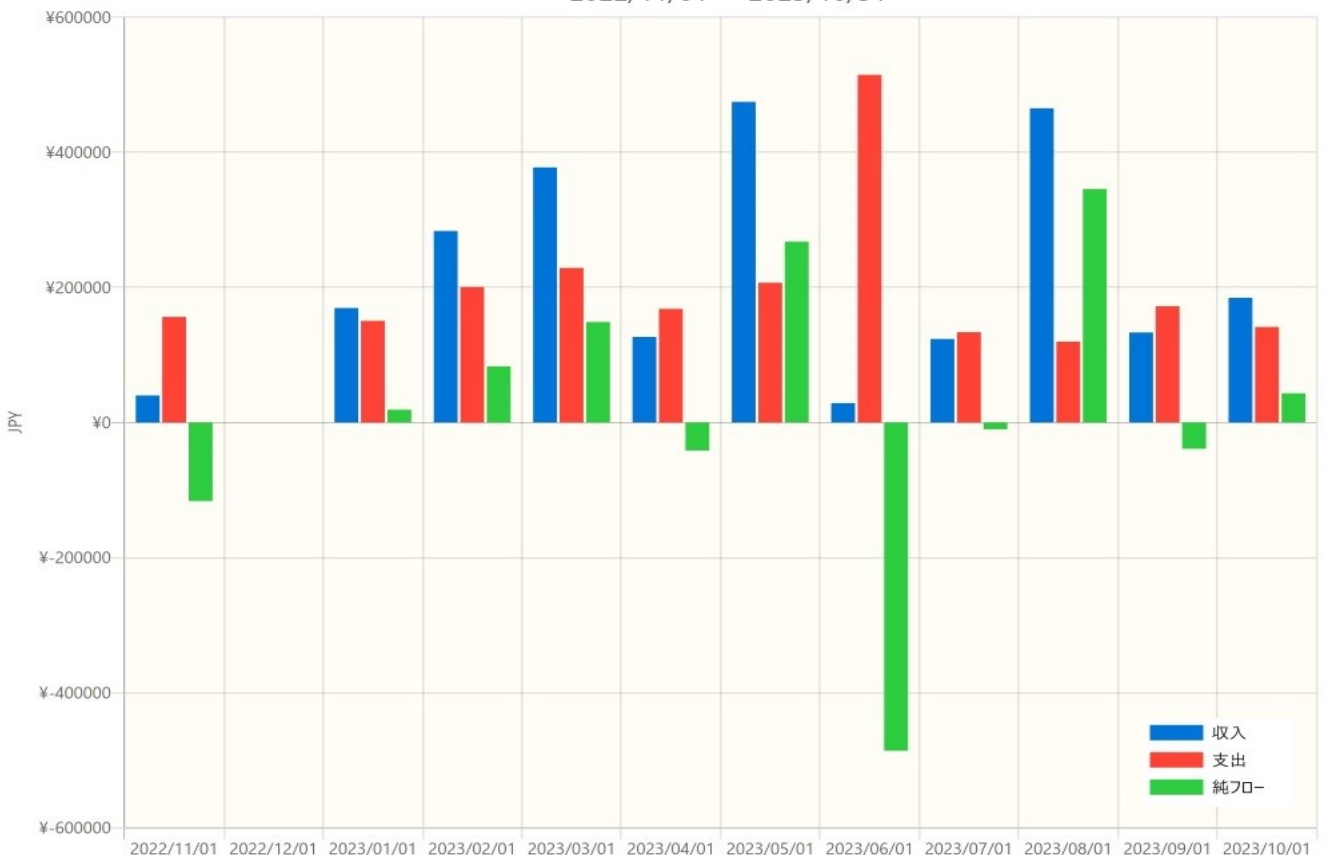
下記に、第5期決算：国内部門と海外部門のキャッシュフロー（収入と支出）棒グラフを示します。

第5期決算：国内部門
 キャッシュフロー棒グラフ
 2022/11/01～2023/10/31



前期（4期）からの繰り越し金が多くあり、今期（5期）が通して守られたことが判ります。

第5期決算：海外部門
 キャッシュフロー棒グラフ
 2022/11/01～2023/10/31



特に第三孤児院の建設のためと井戸建設のために捧げられた金額が多かったことが判ります。

各項目についての説明：

UGANDA献金	ウガンダのTINEミニストーリーへ送金。 オランダからの献金が増加し、新たに車や孤児院が増え現在4ヶ所、孤児200人を超える勢い
国内外部献金	病んでいる方や家の無い方などへの献金品です。
ポスティング献金	宣教トラクト印刷や配布のため
租税公課	ローゼス教会の5期申請：理事2年任期切れ再申請：法務局
雑費	勉強会のためのノート、ボールペンや、ホックアイロ
消耗品	コピーや用紙やファイルやトナーなどの購入
新聞図書費	エスタの証しハーザー誌の教会配布として購入、西成の方へ星野富弘詩集パンフなど購入
設備費	公園での座席のためにコット購入など
広告費	トラクト印刷および配布ポスティング費用など
接待交際費	西成の人たちとの交わりのための食費や飲料等
教会運営費	貸会議室や空調費用の貸部屋
交通費	必要移動のためのガソリン代や高速道路代や電車代や駐車場利用
通信費	HP維持のサーバー管理費や、ドメイン更新費、郵送物切手や宅配費用

謝意：

海外部門： ウガンダ孤児支援を開始しましてから5年の年月が過ぎゆきました。そして孤児の数は200人に達しようとしています。そして孤児院の数も4つになりました。私たち日本からの支援が始まる前はアイルランド国が支援していました。そしてまるで入れ替わるように私たち日本からの支援が始まり、そして昨年ごろよりオランダ国から大きな支援の波がやって来ました。ハレルヤ！すべて主のご計画と信じます。捨て子少女だったエスタ・タカは多くの家族と一緒に住み、スラムへ行って食料を配布し、村々へ行ってキリストを証し、キリストの福音を宣べ伝えています。また、日本の多くの教会に置いてある月刊ハーザー誌7月号と9月号へエスタの証しが掲載されたのは大きな出来事でした。（もし読んでみたいと言う方がおられましたらご連絡ください 080-8852-6247）その願いは、日本のもっと多くの方に、ウガンダでも救われて神の働きをする人たちがいることを知ってもらうことです。今後のさらなる発展が楽しみです。エスタが夢見た幼稚園や学校が本当にできるかも知れません。もっと大きな神の町が出来るかも知れません。私たちの愛する主に期待します。

国内部門： ロバートがビジョンで見たバラの啓示から始まった大阪西成区の三角公園伝道を開始してからはや3年が過ぎました。毎週集まる公園の人たちはまるで流れる川の魚ように行き来します。私たちはそこで釣り糸を垂れる釣り人たちのようです。教会堂を持たない（持てない）私たちは、建物を持っていないという強味があります。なぜなら外へ出て行くしかないからです。教会によっては、みすぼらしい人を入れてくれません。なぜでしょうか？それが教会なのでしょうか？私たちは公園が教会なのでからだれでも来る人を拒むことなどできません。ただただ受け入れます。イエス様がされたように受け入れます。さらに工夫を重ねた福音伝道チラシが7000枚も近隣地域に配布されました。ハローウィンにもキリストを伝える伝道が大阪で行われました。素晴らしい主よ！慈しみ深き主よ！本当に清く聖い主よ！永遠に変わらない主よ！わたしたちはあなたに愛されています。だから私たちもあなたが連れてくる人を拒みません。ただただあなたに感謝します。使徒と預言者で建てられたこのローゼス教会をさらに"カ"ある主の聖なる教会に変えてください。御使たちに四方を守るように命じてください。私たちの行くところに天の窓が開け、あなたの御臨在がいつまでもありますように。この先どんな計画が待っているのかわかりませんが、主が連れて行かれるところへただ私たちは着いて行きます。最後に国内外のために多くを捧げた兄弟姉妹を主イエス・キリストの名前の中で祝福します。多くの恵みがありますように、聖霊の豊かな油注ぎがありますように。アーメン